



株式会社産業革新投資機構

NEWS RELEASE

2026年2月17日

JIC が Atomico と共同でグローバル VC 育成に向けた意見交換イベントを開催

株式会社産業革新投資機構（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：横尾敬介、以下「JIC」）は、2026年1月29日、Atomico (UK) Partners LLP（以下「Atomico」）と共に海外市場に挑むスタートアップを支援できるVCの増加等を目指す「ゴー・グローバル戦略」の一環として、グローバルVC育成を目的とした意見交換イベント「Lunch Session with Niklas: Perspectives from building a Global VC（ニクラスと語る、グローバルVC構築の知見）」（以下「本イベント」）を開催しました。Atomicoとは継続的に共催イベントを実施しており、今回は3度目となります。

Atomicoは、実績ある創業者により設立された欧州のベンチャーキャピタルで、テクノロジーを活用して社会や産業の変革を目指す起業家と協働しています。JICは2024年2月、Atomicoが運営するファンドへのLP投資を公表※しております。

※Atomico Venture VI SCSp および Atomico Growth VI SCSpへのLP投資について（2024年2月29日公表）
https://www.j-ic.co.jp/jp/news/assets/20240229_JIC_PressRelease.pdf

■本イベントについて

本イベントには、Atomicoの創業者であり、SkypeやKazaaなど世界的に著名なテクノロジー企業を複数立ち上げた実績を持つニクラス・ゼンストローム氏が参加し、JIC投資先である国内VCの代表者ら17名と直接議論を交わしました。テーマは、組織開発・チームビルディング、ガバナンス、DE&I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）など多岐にわたり、VC運営におけるAtomicoの知見や経験を共有する貴重な機会となりました。

参加者からは、VCファームとしての組織作りの優先順位、社外取締役としての投資先への関わり方、投資委員会での意思決定プロセス、投資担当者の評価基準や育成方法、DE&Iの取組によるファンド運営の有効性等、実務に直結する質問が投げかけられました。ゼンストローム氏はこれらに対し、自身がAtomicoを立ち上げ、組織的なVCへと発展させてきた過程での試行錯誤や学びも含めて、豊富な経験に基づく示唆に富んだ助言を送り、「VCファームの健全な発展を進めていくためには、心理的な安全性を確保しつつ、多様なメンバーが多角的な視点から意見を述べられる環境作りが重要である」と語りました。



意見交換の様子



助言を送るゼンストローム氏

■JIC の「ゴー・グローバル」戦略について

日本のスタートアップエコシステムの発展に向けて、以下の取組を進めています。

- ・ 国内 VC・スタートアップと海外 VCとの連携強化を目的とした海外 VCへの投資
- ・ 海外の有力 VCへの投資を通じた国内外 VC の連携の促進
- ・ グローバルな知見およびノウハウの国内スタートアップエコシステムへの還元

JIC は、海外の主要 VC が持つ起業家やファンド人材育成の専門性を活かし、投資先 VC と連携して、国内 VC や起業家向けのネットワーキングイベントやベストプラクティスを学ぶ機会の提供に取り組んでいます。今後も LP 投資や傘下のファンドによる企業等への投資に加え、海外の先進的な知見を共有する場づくりに注力してまいります。

株式会社産業革新投資機構（JIC）について

JIC は 2018 年 9 月、産業競争力強化法に基づき発足した投資会社です。JIC は、Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進、ユニコーンベンチャーの創出、地方に眠る将来性ある技術の活用、産業や組織の枠を超えた事業再編の促進、を重点投資分野としています。これらの分野に対し、傘下のファンドや民間ファンドへの LP 投資を通じてリスクマネーを供給することで、我が国におけるオープンイノベーションを推進し、我が国産業の競争力強化や投資エコシステムの拡大に貢献することを目指しています。

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報

奥村（070-3960-3640）、野々宮（080-1339-5207）、浅田（080-8098-0445）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

URL : <https://www.j-ic.co.jp/jp/>